

The 144th Chicago Dental Society Midwinter Meeting

2009年 2月26～3月1日 イリノイ州シカゴ

世界最大級を誇るコンベンションセンター・マコーミックプレイスにて、「第144回 ミッドウインターミーティング」が開催されました。600以上の参加ブース、約31,000名に達する来場者で世界最大規模とも言えるデンタルショーとなります。

弊社ACLからは、代表の宗村裕之、菊池栄二主任、宗村政明、ハワイ支社より谷崎折磨支社長、山下悦子が参加しました。成田からシカゴ間のフライトは約12時間に及び、時差はスタンダードタイムの場合、日本よりマイナス15時間。成田を夜の19時に出発した場合、シカゴに到着するのは現地時間で同じ日の16時になります。

シカゴの街の2月平均気温は-0.6℃と、日本の関東に比べるとだいぶ寒い気候となります。ミシガン湖沿岸の多くが凍結しており、真冬の寒さが、ひしひしと感じられました。

ミッドウインターミーティングでは世界中のメーカーや技工所が最新の機材や材料の展示しています。やはり今年もCAD/CAMの展覧が目を引き、中でもノーベルバイオケアの新しいスキャニングマシンの Nobel Proceraが注目を浴びていました。

LMT, LAB DAY CHICAGO 09

歯科技工所や歯科技工士を対象にした「LMT, LAB DAY CHICAGO 09」が Hotel Sheratonにて開催されました。日本でも知名度の高いGCや松風などといったメーカーも出展しており、各メーカーとも熱心なレクチャーをしてくれました。やはりここでもCAD/CAM製品が多くロングスパンのジルコニアブリッジなどが展示してありました。



A
TD日本の
田中朝見氏と
弊社メンバー



3日間のイベント参加を通しての感想ですが、世界的な不況の中であるのにも拘らず、どのメーカーも新製品の開発や材料の研究に膨大な時間と労力を費やしていることが肌で感じられた3日間でした。世界同時不況といわれている現状を全く感じさせない程の活気に、少々圧倒され続けるばかりでした。今後も歯科業界の進歩もまだまだ続くようです。常に新しい技術や材料に触れ、先生方にご案内や紹介ができればよいかと思えます。尚、来年のMidwinter Meetingは2010年2月25日～27日になり、新しいマコーミックプレイス西側ビルへと移ります。興味のある方はぜひ参加されてみてはいかがでしょうか。

足利セラミックラボラトリー 宗村政明

Nobel Procera



9軸から放射されるレーザーとCCDカメラによって従来よりも短時間で支台歯を読み取ることができ、良好な適合を示すコーピングを製作することが可能。またオーバーデンチャー用のバーやチタンコーピングが製作可能になり、CAD/CAMが歯科業界に浸透していることが伺える。2009年7月に全世界同時発売。



ITI Congress Japan 2009

2月14～15日、東京ビッグサイト（東京都江東区）において「Approved Procedures and New Developments in Implant Dentistry（インプラント治療における治療ガイドラインと新たな展望）」をテーマに標記大会が開催され、弊社より代表の宗村裕之、北詰浩久と宗村政明が参加しました。スイス・パーゼルに本部を置くITIは、インプラント治療の教育・研究および普及を目的とした国際非営利学術組織で、主にインプラント歯学ならびに歯周組織再生に従事する専門医から構成されており、日本では25名のフェローメンバーが在籍しています。25種類の多彩なセッションプログラムが企画された今大会には、国内外87名の演者が招聘され、ITI初となる日本での大規模な大会に延べ1,800名が参加しました。2日目に行われた歯科技工士セッション（モデレーター：斎藤勇氏/I. S. デンタル・川崎市高津区、杉井伸行氏/アポロデンタル・埼玉県川口市）には5名の歯科技工士演者が登壇し、エビデンスに基づいた知見を披露しました。

2009 MWM 参加人数

歯科医	6,983	歯科技工士	369
同伴者	263	衛生士学生	1,603
歯科医学生	675	一般客	2,085
衛生士	3,883	報道関係者	131
アシスタント	3,161	貿易商	871
オフィス職員	2,248	出展者	9,061
		合計	31,333名

※chicago dental society ホームページより抜粋

